

電力使用量

各公共施設が、節電対策に取り組んだ結果、市の電力使用量は昨年同月比で、

7月：20・4%

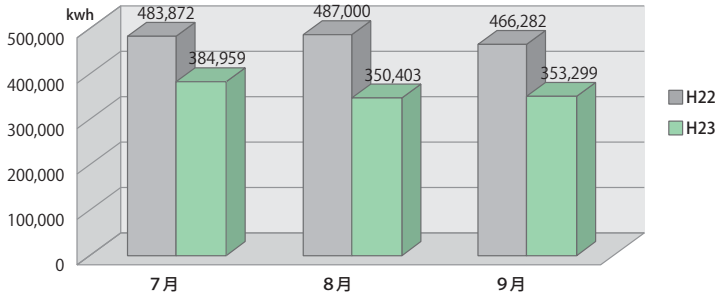
8月：28・0%

9月：24・2%

の削減量となりました。削減目標が15%でしたので、目標を大きく上回っての達成となりました。

電力量の削減量は、
7月：98,913kwh

つくばみらい市の電力使用量昨年比



8月：136,597kwh
9月：112,983kwh

となり、毎月10万kwh程度の削減となりました。

電力使用料金

電気使用量の削減ができたことで、電気使用料金の削減もでき、結果として経費削減となりました。昨年同月比で、

7月：106万3320円

8月：159万3495円

9月：138万7541円

の減となり3カ月合計で、404万4356円の経費削減となりました。

つくばみらい市が取り組んだ節電対策

■公共施設の冷房温度を28℃に徹底

市内各公共施設の冷房温度を28℃に徹底しました。また、午後4時30分以降は冷房を停止しました。

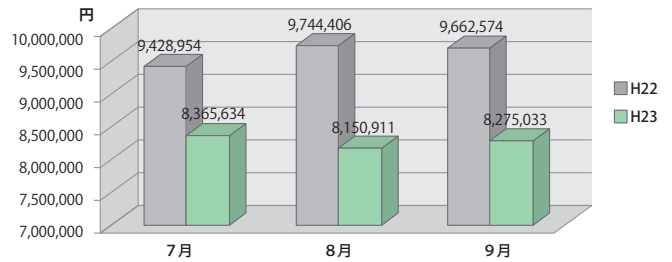
■照明の削減

庁舎内の蛍光灯を間引きしたほか、トイレや廊下階段など、可能な限り消灯しました。

■消費電力などの削減

パソコンに自動節電設定、電気ポットの使用を禁止し、水筒を持参するなど、庁舎内で使用される電気製品などの消費電力

電力使用料金昨年比



■ノー残業デーを拡充

毎週火曜日のノー残業デーに加え、9月末まで毎週木曜日もノー残業デーとしました。

■市民への協力の呼びかけ

冬季も節電を実施します！

東京電力管内の今冬の電力供給力は、昨年冬期の最大電力を上回る電力を確保できる見通しではありますが、市では、夏季に引き続き、空調設備の温度適正管理、蛍光灯の間引き、消費電力の削減など、節電対策を継続するとともに経費削減を図ります。

市民の皆さんにおかれましても、引き続き家庭内での節電にご協力ください。

冬の

「電気の手順な使い方」

■エアコン

・フィルターの掃除はこまめに
フィルターは、2週間に一度を目安に清掃すると、ホコリの目詰まりによる暖房能力の低下を防ぐことができます。

・カーテンやブラインドなどで冷気の進入をカット
日射のない時間に部屋を暖める場合は、カーテンやブラインドを閉めて、窓からの冷気が入ってくるのを防ぎと省エネになります。

市役所庁舎内玄関や庁舎内に「節電実施中」「節電にご協力ください」などを掲示し、広く市民の皆さんに周知し、協力を呼びかけました。

・風向きは下向きに

暖かい空気は上昇するため、効率よく部屋を暖めるにはエアコンの風向きを下向きにしましょう。また、扇風機やサーキュレーターで、天井にたまりがちな暖気を循環させるとより効果的です。

■こたつ・電気カーペット

・機器本体と床との間に敷物を、こたつの掛け布団は2枚に
機器本体の下に断熱効果のあるマットなどを敷くと、熱が床下に逃げにくくなり、省エネになります。また、こたつは掛け布団を2枚にすることで、保温効果を高め、設定温度を低めにしても暖かく感じられます。

■電気ストーブなど

・機器を上手に選んで必要な暖かさを
電気ストーブ、パネルヒーター、ハロゲンヒーターなどは、短時間使用する寒い脱衣所やトイレなど、部分的に暖めたい時に活用することをおすすめします。